

第345回  
株式会社テレビ新潟放送網  
放送番組審議会

- 1 開催日時 平成30年2月26日(月)午前11時00分より  
2 開催場所 テレビ新潟 会議室  
3 委員総数 8人 出席委員 6人

出席委員

豊口 協	委員長	大矢 純一	副委員長
中島慎一郎	委員	原田 健一	委員
大久保千春	委員	柳川かおり	委員

会社側出席者

取締役会長	室川 治久
代表取締役社長	務台 昭彦
常務取締役 編成担当	竹石 尚史
取締役報道制作局長	永田 広道
編成局長兼番組審議会事務局長	増子 隆
報道制作局制作部長	羽田 朗
報道制作局合評番組プロデューサー	須山 司
事務局	山崎 学 吉田 康宏

## 4 議 題

### 1) 番組合評

#### 「金メダルへの飛翔 平昌五輪 新時代への挑戦」

[放送:平成30年1月20日(土) 16:25-16:55]

(説明 : 番組プロデューサー 須山 司)

### 2) 会社報告

① 1月視聴者の意見 (報告:番組審議会事務局)

② 講じた措置、公表など定例報告等 (報告:番組審議会事務局)

### 3) その他

## 5 審議の概要

会社側からは、ソチ五輪の前年から5年に渡り追いかけてきたスノーボードハーフパイプ平昌五輪代表の平野歩夢選手を中心に新潟県出身オリンピック代表選手の挑戦する姿を番組化した。オリンピック代表選考が放送日の直前まで正式に決定しないという中、怪我や選考漏れなどの可能性もあり番組構成に苦労した。また選手が出場しているワールドカップなどの映像には規制があることで、独自に取材した選手の私生活や活動を中心に番組を制作した、という説明があった。

### (委員の意見)

- オリンピック番組で受けているインタビューや映像とは違う平野選手の普段の高校生活や怪我のリハビリの様子などが見ることが出来て良かった。これは新潟のテレビ局ならではの出来る取材だと思った。
- 平野選手だけに焦点をあてた構成が良かったのではないか。

- 小野塚選手の部分については物足りなさを感じた。小野塚選手を支えている周囲の方々の活動も取り上げて欲しかった。それを取り上げることによってメダルを獲得した選手が発するそういった方々への感謝の念をもっと視聴者は感じられるのではないか。
- 平野選手がリラックスしてインタビューを受けている姿、コメントは貴重だと感じた。
- 小野塚選手の部分にあった両親やサポートしている人たちの想いを平野選手の部分にもあると良かった。
- アスリートと怪我は重要な関係であると思うが、平野選手の怪我の克服についてもっと丁寧に取り上げればよかったのではないか。
- ライバルのショーン・ホワイト選手や新技の解説などもあって、新潟県民向けの五輪の前番組としては良くできていたと思う。
- 選手の努力だけではなく、種目の新設や周囲の支援など運も五輪には必要なのだと番組を見て思った。
- 銀メダルを獲ったこれからの平野選手の成長が楽しみになったので、ぜひ続編を見たいと思った。
- スノーボードという競技に目覚めた平野選手の理由や指導者の存在など、視聴者が分からない部分を描いて欲しかった。
- 平野選手の高校での部活動において、部長としての自分を語ったコメントが印象に残った。
- 各選手さまさまの4年間の戦いが垣間見ることが出来た番組であった。

## 6 会社側の報告

### 1) 放送番組に関して申し出のあった意見の概要

1月 …… 112件

### 2) 訂正放送、取り消し放送の実施状況

前回審議会(平成30年1月29日)から、昨日(平成30年2月25日)まで、総務省に届け出た訂正放送、取り消し放送はありませんでした。

## 7 審議機関の答申または意見(前回審議会)に対してとった措置

### 1) 前回第344回審議会では、「消えないサイレン～糸魚川大火1年 炎の記憶～」を審議いただきました。

委員の意見は議事概要にて記者制作スタッフ、社内に周知しました。

### 2) 番組審議会議事録を全社員・スタッフに回覧しました。

## 8 今回の第345回放送番組審議会の公表

### 1) テレビ新潟本社、長岡支社、上越支社の県内事業所に議事概要の書面を準備しています。

### 2) 当社のニュースで審議会の概要を放送します。

### 3) TeNYホームページに議事概要を掲載します。

## 9 参考事項(委員への配布資料)

- ・1月の視聴者からの意見、問合せ等の集計表
- ・民間放送新聞(2/3、2/19号)

以上